

国保また赤字決算、他会計黒字に終わる

会計		歳入	歳出	歳入歳出差引額
一	般 会 計	173億9377万円	165億3922万円	8億5455万円
特別 会計	国民健康保険	58億3209万円	64億5957万円	▲6億2748万円
	後期高齢者医療	2億7574万円	2億7419万円	155万円
	下水道事業	7億5424万円	7億5014万円	410万円
	土地区画整理事業	13億9588万円	13億6079万円	3509万円
	農業集落排水事業	1976万円	1928万円	48万円
	小 計	82億7771万円	88億6397万円	▲5億8626万円
全会計合計		256億7148万円	254億 319万円	2億6829万円

下水道事業

下水道使用料の徴収は南部水道に委託しています。平成29年度は徴収率が99.5%でした（昨年比▲0.2%）

国民健康保険

10年連続の赤字決算であり、加入者数は約9,500人です。不足分は翌年度の歳入で赤字を補填する繰上充用しています。

後期高齢者医療

平成20年度から始まり被保険者(75歳以上)は年々増えています。
平成20年1,972人
平成29年3,008人

ひとこと 特別会計

平成29年度決算の特徴



土地区画整理

津嘉山地区の区画整理事業です。平成29年度末の全体面積における整備率が約56%、物件補償については95%の進捗率となっています。

農業集落排水

神里地区が対象の下水道事業で、徴収した料金は污水处理施設の維持管理等に使用されています。

身の丈にあった財政運営を 監査委員の意見

代表監査委員 稲福 清
議員選出監査委員 上原喜代子

審査期間 7月2日～7月31日

財政は総じて健全に運営されており、実質収支額が黒字決算であった。一方では国民健康保険特別会計は収支の均衡が依然得られていない。現実には非常に厳しい財政運営となっている。今以上に身の丈にあった財政運営の視点を持ちつつ、町民への福祉サービス向上を図らねばならない。



監査委員から町長へ意見書を提出しました

【適切な事務処理を】

適切な事務処理を図るため、業務のチェック体制の強化や事務指導体制の充実に努めること

【一括交付金の効果的な事業完了を】

一括交付金は、制度の趣旨・目的を踏まえ、効果的な事業として完了すること

【国民健康保険医療費の軽減を】

国民健康保険特別会計は、保険給付費の抑制に努め、引き続き前期高齢者交付金制度の是正を国に強く要望する